

外来患者の薬に対する意識調査

垣木由子、片山博和、中村明弘、吉富博則、
松島敏春*、二木芳人*、内田昌宏**

日本病院薬剤師会雑誌, Vol.33(6), 41-45(1997)
(*Journal of Japanese Society of Hospital Pharmacists*)

A research on the outpatients' view for medicines

Yoshiko Kakigi, Hirokazu Katayama, Akihiro Nakamura,
Hironori Yoshitomi, Toshiharu Matushima, Yoshihito Niki,
Masahiro Uchida

抄録 筆者の1人は、平成7年9月より12月までの4ヶ月間、福山大学の大学院生として、川崎医科大学附属病院薬剤部と呼吸器内科病棟で実務実習を行ったが、その際、病棟薬剤師より服薬指導について学び、業務の重要性を認識する反面、この様な指導が不十分な外来患者の薬の理解度に疑問を感じ、薬剤部の協力により調査を行った。抗生物質について約2ヶ月間、聞き取り調査を行った(282名)。今回の調査でいくつかの問題点が明らかになり、説明内容の改善を検討中である。

* 川崎医科大学附属病院呼吸器内科

** 川崎医科大学附属病院薬剤部